

垂水市教育委員会

令和8年度第4回教育委員会定例会

開催日 令和8年7月10日(金)

時 間 午後2時から

場 所 市民館2階第2研修室

会議日程

1 開 会

2 令和8年度第3回定例会会議録の承認について

3 議 事

※(非)印の案件は、非公開となる場合があります。

報告第17号 行政手続法に基づき垂水市教育委員会が行う聴聞手続規則の一部を改正する規則について

報告第18号 垂水市教育委員会職責証明カード管理規程の制定について

報告第19号 垂水市社会教育委員の委嘱について

報告第20号 垂水市青少年育成センター協議会委員の委嘱について

4 動議の討論等

5 その他

6 委員並びに教育長及び課長報告

7 閉 会

令和8年度 第4回教育委員会定例会

日時、場所及び出席者

日時及び場所	出席者	
令和8年7月10日（金）	教 育 長 明 石 浩 久	教育総務課長 堀 留 豊
午後2時00分 ↓ 午後2時50分	教 育 委 員 吉 富 和 夫	学校教育課長 西 啓 亨
	教 育 委 員 田之上 厚美	社会教育課長 大 迫 隆 男
第2研修室	教 育 委 員 福 里 由 加	

会 議 要 旨

- 開 会
定足数に達しており、令和8年度第4回教育委員会定例会を開会した。
- 前回会議録の承認について
令和8年度第3回教育委員会定例会の会議録について、承認する旨、教育長から発議があり、全会一致で可決された。
- 議 事
報告第17号 行政手続法に基づき垂水市教育委員会が行う聴聞手続規則の一部を改正する規則について

報告第18号 垂水市教育委員会職責証明カード管理規程の制定について

報告第19号 垂水市社会教育委員の委嘱について

報告第20号 垂水市青少年育成センター協議会委員の委嘱について
- 動議の討論等
- その他

6 委員並びに教育長及び課長報告

7 閉 会

議 決 事 項

件 名	提案等理由	審議の状況	採決の次第
報告第17号 行政手続法に基づき 垂水市教育委員会が行 う聴聞手続規則の一部 を改正する規則につい て	行政手続条例の改正により、 条例の委任を受ける規則の改正 を行ったことを報告するもの	特記事項なし	承 認
報告第 18 号 垂水市教育委員会職 責証明カード管理規程 の制定について	電子申請を行うため、必要と なる職責証明カード発行手続き に関する規程を制定したことを 報告するもの	特記事項なし	承 認
報告第 19 号 垂水市社会教育委員 の委嘱について	本委員について、委員を委嘱 したことを報告するもの	特記事項なし	承 認
報告第 20 号 垂水市青少年育成セ ンター協議会委員の委 嘱について	本協議会委員について、委員 を委嘱したことを報告するもの	特記事項なし	承 認

議 事 内 容 等

3 議 事	
教育総務課長	報告第 17 号 行政手続法に基づき垂水市教育委員会が行う聴聞手続規則の一部を改正する規則について ＜資料に沿って説明＞ （質疑） なし （採決） 承認
教育総務課長	報告第 18 号 垂水市教育委員会職責証明カード管理規程の制定について ＜資料に沿って説明＞ （質疑） なし （採決） 承認
社会教育課長	報告第 19 号 垂水市社会教育委員の委嘱について ＜資料に沿って説明＞ （質疑） なし （採決） 承認
社会教育課長	報告第 20 号 垂水市青少年育成センター協議会委員の委嘱について ＜資料に沿って説明＞ （質疑） なし （採決） 承認
4 動議の討論等	(なし)
5 その他	(なし)
6 委員並びに教育長及び課長報告	委員並びに教育長及び課長報告に入る。 まずは、田之上委員からお願いしたい。
田之上委員	瀬戸口藤吉翁のふるさとコンサートですが、開場前から多くの方が列を作って並ばれ、久しぶりの東京音楽隊を楽しみにされていたのだと思います。行進曲をはじめ、聞き馴染みのある曲が多く、あっという間に時間

が過ぎていきました。また、初めて聞く童謡もあり、こんな曲も作っておられたのだと驚きました。すばらしい演奏会でした。

県立図書館主催の親子読書研修会に参加しました。「おやこ読書で出会う心に残る宝本」をテーマに、取組発表や講演などがありました。幼稚園と小学校の読み聞かせグループの発表があり、幼稚園のグループは、道具や音楽を使いながら楽しいお話の実演がありました。幼稚園だけでなく、地域の公民館でのお話会に参加されているとのことでした。小学校のグループも、見てお話を楽しめる工夫をされたものの実演がありました。小学校では、近年、読み聞かせの時間の確保が難しくなっており、苦慮されているとのことでした。

市内の児童クラブで合同研修会を行いました。保健課からの夏休みに向けての注意事項の説明と鹿俣先生ご夫妻による「学童期の子どもたちの心と体」についてお話を伺い、室内でも遊べる手遊びなどを教えていただきました。夏休みに入るこの時期に一同で学べてよかったと思っています。

最後に、先日、垂水小学校の運営協議会に出席をしたのですが、学校内を授業参観とともに施設などの参観をさせていただきました。その中で、プール授業も見たのですが、委員の中から小プールの底の塗装が剥げていて、「ちょっと見苦しいね、どうにかならないのかな」という意見が上がりました。それからトイレが古いということもあり、トイレの臭いがどうしても気になるというのが、数年前から出ているようで、保護者PTAも動いていらっしゃるとのことでしたけれども、また今回もそういうお話が上がりました。それから、草木の伸びが、この時期になるとすごく早くで、垂水小はちょっとひどい状態なっていて先生方も本当に大変だと思うので、ボランティアなど、いろんな形で手伝いができて子供たちが安全に遊べる、過ごせるような状況にしてあげられたら、いいのかなあというふうなお話がありました。

教育総務課長

施設整備関係の話がありましたので、現状をお伝えいたします。学校運営協議会で要望があったことは教育委員会の代表委員から報告を受けており、すぐに垂水小学校の校長先生と話し合いをしてきました。その内容ですが、校長先生は学校施設の管理者として大きな権限がある中で、学校施設に対して、様々な要望が学校運営協議会をはじめ、PTAや保護者、先生方から上がってくると思いますが、施設管理者として、緊急性、安全性を加味されて、優先順位をつけていただくようお願いしたところです。現在、そういった対応をされているところだと思っております。一方で、本当に緊急を要するものについては財政課と話をし、対応するよう努めているところです。

吉富委員

6月15日に市民館において新城小学校と柊原小学校の学校訪問の資料を各校の学校長より説明をいただきました。新城小学校では、校内研修の主題に「自ら学び考える子どもの育成～ICTの利用を通じた人権教育の充実」を掲げ、質の高い学習の展開とICTを利活用した人権教育に関する研究仮説のもと、研究に取り組まれています。柊原小学校との遠隔授業を通して、教育版マインクラフトを活用し、問題解決的な学習を進めるとと

	もに、交流学习の児童と共に学びや思いをつなぎ合い、誰一人取り残さない教育活動の実現を目指されています。今後、ICT活用、特に交流や情報の発信において、相手を思いやる気持ちの育成を研究の視点に加えられています。常に情報を受け取る側の立場に立ち、中傷や誹謗の道具にしないマナーを小学校低学年から学ぶことが大切と考えました。今後の「垂水らしいGIGAスクール構想」に人権教育の視点を取り入れていただければと思います。柊原小学校では、児童の実態を教育活動全般を通し、「決められたことには、一生懸命取り組む」、「自分の意見を積極的に発表でき、自分の考えを伝えようとする意欲が高い」、「ICT機器の活用で、授業で効果的に活用できるようになってきた」という実態を示され、「予習型反転学習により、関わり合う力を高める少人数・複式学習の工夫～市GIGAスクール構想を踏まえたICTの利活用を通して～」と設定し、学力向上に取り組んでおられます。また、地域行事の「おろごめ」や「壁うつくじい」に児童が全員で取り組み、学校と地域が一体となって健全育成を進めております。垂水市の全ての学校が、校長先生の教育理念のもと、職員が一丸となって、児童生徒の育成に取り組まれています。 7月7日、市民館大ホールで開催された「青少年育成合同会議」に参加しました。地域による青少年の見守り体制、学校と協働しての「あいさつ・ありがとう」運動の実際の説明がありました。垂水幹部派出所の警官から垂水市の事件事故等の現状の説明がありました。昨年度、今年度とも青少年に関わる大きな事件事故はなく、比較的穏やかに経過しているとのことでした。しかしながら、大麻・薬物、闇バイトについては、都会、地方関係なくインターネットを通じて、常に青少年に危険を及ぼす可能性があるとのことでした。地域が安全で安心できる社会を私たち大人が責任をもって構築することが青少年の健全育成に直結しているものと強く感じました。
福里委員	7月3日に中学校の授業参観のPTAに参加しました。PTAでは、先生方がいろいろと対策されていることのお話がありました。クラスがなかなか落ち着かず、授業が進まないようです。授業中にタブレットでYouTubeを見たり、それを先生が指導していたりするそうです。先生方が話をしてくださっているが、なかなか改善されないのかと思いました。 中俣六月灯が7月の22日にあるのですが、出演依頼が幼稚園にありました。中俣地区を盛り上げたいと、振興会長さんの思いの依頼でした。私の小さい頃はすごく盛り上がっていましたが、最近はなかなか盛り上がりませんが、このような振興会長さんの熱い思いがあって、こんな取り組みが、いろんな地域でできるといいなと感じました。
教育長	中学校の件は校長先生に来ていただいて、少しお話をさせて状況をお聞きしたところでした。指導主事も、授業参観に行き、状況確認しながらまたいろいろアドバイスができればと思っています。今日もSOSの研修会には、1年生、2年生それぞれ学年ごとに様子を見ていましたけれども、特に問題はなかったようです。また様子を見ながら進めます。

それでは私の方から報告させていただきます。

6月30日火曜日、給食の試食会がありました。令和3年度から続いているということですが、ふるさと納税をしてくださる方から、返礼品はいらないので、学校給食で地元の食材を提供してほしいということで、今回は全小中学校にメロンがふるまわれました。昨年度は新城産の牛肉を使った焼肉丼だったことから、新城小学校で試食会を行いましたが、今回は柘原産のメロンでしたので、生産者をお招きして、柘原小学校で実施しました。大きくて甘いメロンで、子供たちは美味しそうに頬張っていました。生産者の方のお話では、3月1日に種まきをして、4月1日に畑に定植するということでした。そして花が咲いたら、ミツバチに受粉させて、実は1株に1個にして育てるということでした。今回の給食に必要な70個のメロンを糖度も大きさも揃えることの苦労をお話してくださいました。給食センターには試食会当日の朝、納品されたということで、プロの仕事の凄みを感じました。こうした方々の力があって給食が提供できること、垂水の子供たちは幸せだと、改めて思いました。

7月5日の日曜日は市の体育館で開催されました江ノ島幼稚園の創立50周年記念運動会の様子を参観いたしました。オープニングでは小太鼓とシンバルの演奏、ボンボンを使ったダンスが行われました。始まった曲が「行進曲軍艦」であり、尾脇市長から「おおっ」という声が漏れました。開会式では、園児による4つの誓いの言葉が発表され、その中の「運動会中はお母さんのところには行きません」には、思わず頬がゆるみました。また、その言葉どおり、泣いても親のところには行かないこと、競技をすすめさせることが徹底されていました。プログラムでは笑顔になる競技が多く、園児が一生懸命走る姿が見られました。園の先生方のご指導に感心することでした。園長先生はというと、各競技の準備、職員や保護者のフォロー、写真撮影、かけっこのスターター、放送係と休む間もなく働いていらっしゃいました。校長のときの自分を振り返って反省することしきりでした。素敵な運動会を見せていただき、ありがとうございました。

世界中でサッカーワールドカップが盛り上がっています。にわかファンの私も日本代表の試合をはらはらしながら、テレビで観戦しました。ゲームだけでなく、試合後、きれいに片付けられたロッカールーム、観客席を掃除するサポーターなど、前回のカタール大会もそうでしたが、SAMURAI BLUEの伝統、日本人の美德を、子供たちに語ってくださいと、先日の教頭研修会で話をいたしました。日本代表が、いつの日か、世界一という目標を達成する日がきたら素晴らしいなと思いました。

教育総務課長
学校教育課長
社会教育課長

6月16日から7月10日までの主な行事等について各課長が報告。併せて、7月11日から8月7日までの行事予定についてお知らせした。

7 閉 会